

第4回 B センス・フォーラム

のんびり走る地域密着の東急世田谷線沿線を歩く

日時／2009年10月31日(日)

コース／三軒茶屋駅から世田谷線で若林駅へ。～山下駅まで歩き、世田谷線で下高井戸駅へ。

メンバー／国安俊夫さん、高野丈さん、竜田直子さん、芝小路晴子(記)

東京23区中最も人口が多い世田谷区。田園都市線・三軒茶屋駅から京王線・下高井戸駅までの約5kmを結ぶ東急世田谷線の若林駅から山下駅の間を歩き、下高井戸駅の駅前市場や食堂を楽しみました。住宅街や商業地がひしめき合う中にも、かつての農道や川の流れを基礎につくられた街並みが残り、地に足がついた穏やかなBセンスを随所に見ることができました。

住宅街の中を走る世田谷線

線路脇の狭い道。車を気にせずのんびり歩き、四季折々の草花をゆっくり楽しむことができます。



元造園屋さんのお宅の林

大きな樹木が広く残り、地形の改変も免れ、ランドマークともなっていて、このあたりの昔の自然を思い出させてくれます。



住宅地内に残された小さな畑

都市計画地域に区分されていると思われる住宅地に、小面積ですがしっかり耕作されている畑を発見。「生産緑地」の表示も出ていません。高額の税金を取られ経済的な採算は合わない行為ですが、生物多様性には大いに貢献している空間だと思います。近くには井戸の跡も残っていました。



道端の道祖神やお稲荷さん

道のあちこちに道祖神やお稲荷さんなどが祭られていました。下高井戸駅前市場の一角におまつりされているのまで発見しました。これも様々なものに神様が宿るとい我が国伝来の考え方の反映でしょう。



廃材を燃料に使っているお風呂屋さん

お風呂屋さんの裏で、材木を片付けているの方を見かけたので声を掛けました。建物を取り壊した際に出た廃材を譲り受けてお風呂を沸かしているそうです。



玄関先の樹木や生け垣

サクラ、カキ、マツの木などが茂っている家が多い中、シイの木が玄関先を覆っているお宅を見つけました。世田谷の元々の植生の樹木を、邪魔だと切らずにいるお家にBセンスを感じます。生け垣や、窓辺にゴーヤによる緑のカーテンがあるお宅も。こうした風景は心が落ち着きますし、多様な生き物のすみかにもなっています。



古い建物を生かしたレストラン

この建物、レストランに見えますか？ 目立った看板もなく、建具も内装もそのまま。密閉度が高いきれいな建物に建て替えてしまうより、生き物たちにすみかや休息場所を与える隙間や余地があると思います。



川を埋め立てた緑道

玉川上水から分水し東京湾に注いでいた烏山用水が暗渠化された後、1974年に総延長7kmの烏山川緑道が造られました。旧道と接する所にはヤナギの並木が残り、歴史を感じる配慮がされているように感じました。



豪徳寺のまとまった緑

今回のコースの中で最大の緑地です。まとまった面積の緑地があることは、生物たちにとってのオアシスはもちろんのこと、都市気候の緩和や、災害時の避難場所など様々な恩恵を私たちに与えてくれます。



豪徳寺商店街にある和菓子屋さん

古い秤があったので、「すごく古いですね」と声をかけると「これが一番正確なんだ」とご主人。



活気がある下高井戸駅前商店街

買い物袋を提げて小さな個人商店が並ぶ商店街まで歩いて買い物に出かけると、大型のスーパーマーケットに車で出かけるより、環境負荷を小さくできますし、お店の人と地域の食材の収穫具合について話ができたりなどと、自然や生き物のことを気にしたショッピングができるのではないのでしょうか。



獲れたままの姿で商品が並んでいる魚屋さん

日本近海で獲れた魚介類がそのままの姿で産地がわかるように並べられている魚屋は、生物多様性が実感できる楽しい場所です。調理をする時も生臭い、ヌルヌルするなど五感で生き物を感じ、自然の恵みのありがたみを感じることができます。



地場産品を扱っている八百屋さん

世田谷産の野菜を扱っているお店がありました。都会の中や近くで生産された野菜類を利用することは、新鮮で輸送エネルギー消費も小さく物質循環も地域で完結する、生物多様性を含む環境にはとても優しい行為ですが、生産者として経済的に成り立たなければ継続できません。

